

総合戦略プラン改訂案に係るパブリックコメント結果

1 実施期間

- ・令和4年2月25日（金）～3月28日（月）

2 周知方法

- ・町ホームページ
- ・地方紙
- ・メルマガ

3 募集資格

- ・本町に在住、在勤、在学の方
- ・本町に事務所または事業所をお持ちの方

4 公表場所

- ・町ホームページ

5 提出方法

パブリックコメント記入用紙に、必要事項を記入の上、役場地域政策課へ持参、郵送、ファックス、電子メールのいずれかにより提出。

6 募集結果（5名から13件）

- ・参考 13件

項番	ご意見	町の考え方／反映状況
1	湯河原町には、大きな問題点が2つあります。 1つは「過疎化」、もう一つは「厳しい財政」です。これらを克服しない限り「持続可能な町」になることは不可能です。解決するには「人口と税収」を健全な状態まで増やす事です。具体策は必ず「日本一子育てしやすい町と健康長寿の町」を目指すのです。思い切ったことをしなければ、人口も税収も増やすことはできないのではないのでしょうか。	本プランは、人口減少の抑制と地域の活性化を目標としており、そのために必要な施策や事業を掲載しております。本プランを推進することで、町を活性化させ、人を呼び込み、地方創生へつなげてまいりたいと考えております。 ↓ 【参考】

2	湯河原町の特産物を使った料理教室を開催してほしい。	<p>健康増進計画・食育推進計画の第2期計画では、おとな対象の食育推進事業として「簡単レシピで満点料理」に加え、新規事業として「野菜たっぷりレシピ紹介」を計画しています。「簡単レシピで満点料理」はすでにレシピ集を3冊発行し、保健センター等で配架するほか町ホームページに掲載しております。「野菜たっぷりレシピ紹介」は令和5年度開始予定事業ですが、テーマに地場産を含めてレシピ募集・普及をしていきたいと考えております。地場産品の活用につきましては、農林水産課と協力しながら進めてまいります。また、普及活動の一環として料理教室を開催し、より多くの方が地場産品を身近に感じられるような機会を提供してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
3	調理室などの充実、公民館のリフォームを希望します。	<p>現在、地域福祉会館の整備方針に基づき、各会館の整備工事を実施しており、今後も引き続き、各会館の状況に応じた改修工事、建替え工事等を行っていく予定です。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

<p>4</p>	<p>湯河原町に在住2年半、住民として地元にあったらいいなと思うものを挙げた。</p> <p>総じて当地のサービス産業は観光地価格であるため、住民としては高すぎると感じている。観光地価格のものがあっても良いが、住民や気楽に楽しみたい一般客に受入れられる質の良いサービスが少ないように見られる。住民の生活に溶け込み、楽しめるものが、息の長い観光資源となる。</p> <p>(1) 植木市・・・配達サービス付</p> <p>(2) 釣り突堤・・・子供連れで安全に楽しめる(釣り船は高すぎ、不便)</p> <p>(3) 低価格旅館・・・家族、若者、高齢者、ひとり旅客が温泉を目当てに泊まれる。日常食で良い。湯治的に住民が週末に利用するもよし。</p> <p>(4) 地産地消型定食食堂+農水産物市場 ・・・食事ついでに買い物、買い物ついでに食事。 観光客、ハイキング客なども気楽に立ち寄れる。</p> <p>(5) ノミの市・・・移住者の家具調度品工具などの需要、引っ越し・家じまい時の整理品</p>	<p>現存する歴史的な観光資源や文化的資源、魅力ある自然や風景、食や人々のおもてなし等も観光資源として、これからも有効活用に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
<p>5</p>	<p>【基本目標1：湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする】</p> <p>商業施設がコンビニか薬局ばかりでもっと衣料品などの買い物ができる商業施設を誘致してほしい。若い人が働けるような道の駅やお土産を製造する工場など。</p>	<p>商業施設が立地すると、様々な店舗が集約され、幅広い世代の方の利便性が高まり、一定の経済効果や出店に伴う雇用も創出されます。一方で、出店には民間事業者の判断はもちろんですが、立地場所によっては、商店街や各商店、周辺住民への生活環境への影響等を考慮する必要があります。</p> <p>今後も町民のニーズなどを的確に把握しながら、就労の確保に努めていきたいと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

<p>6</p>	<p>【基本目標 2】 2-1 関係人口の創出・拡大</p> <p>(2) 万葉公園・周辺地区まちづくり</p> <p>①「惣湯」の改称：あまりにも古風な呼称であり世代に無関係に理解し難いはず。特に若者世代には理解不可能では。もっと現代風の呼称に改称すべきかと思う。更に、「Books」を敢えて強調する意味は無いのではないだろうか。</p> <p>②「惣湯」の設定料金の見直し：設定料金があまりにも高すぎるために、戦略プランの基本目標の一つである「新しいひとの流れをつくる」とは真逆に作用しているのでは。もっとリーズナブルな料金を設定して利用者数をより増やすべきでは。</p> <p>③オレンジラインの舗装道路のメンテナンス：日頃オレンジラインを利用させてもらっているが、如何せん、道路の舗装状態が悪いカ所が多すぎる。特にアポロ荘本館近隣のトンネルの「出（入）口周辺」や五所神社に降りる「カーブ周辺」の道路状態はガタガタで悪い。また、腐食したガードレールが多くて景観面でも印象が非常に悪い。もっと費用をかけての道路補修のメンテナンスを是非実行願いたい。</p> <p>④椿ラインの電柱などの地中化：宮上交差点辺りから奥湯河原に向かう地区は地中化によって町並みがすっきりとして綺麗な印象を与えるが同交差点辺りから湯河原駅に向かう地区の地中化が進んでいないように見受けられるので、是非地中化を推進してもらいたい。</p>	<p>①この場所は、江戸時代に村人たちが地域の共同場として「村湯」、「惣湯」と呼び大切に守り、管理していた場所であると言われております。この歴史を大切にし、この場所が、これからも、皆様に愛されるような場所として育ててまいりたいとの願いを込めておりますので、ご理解いただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p> <p>②日帰り入浴施設の惣湯テラスは民設民営の施設となっております。町としても、観光客も町民も集えるような施設となるように願っており、いただいたご意見は、運営事業者にも申し伝えさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p> <p>③町の主要な幹線道路は、平成 31 年に策定した「湯河原町舗装維持管理計画」に基づき、順次実施しています。オレンジラインにつきましても、優先すべき箇所を見定めながら、適宜メンテナンスを図っていきます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p> <p>④椿ラインは神奈川県が管理する道路であり、電柱の地中化の推進についても神奈川県県西土木事務所小田原土木センターが所管しています。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
----------	---	--

7	<p>新しくなった惣湯には毎月賃料を払って、経営を全面的に任せていると聞きました。2月の焚き火のイベントでは出店のお店が町外ばかりだったことや、特産品のみかんさえ売っておらず、湯河原らしさがなくて残念でした。もっと町が入りこんで湯河原の良さを打ち出して欲しいものです。経営を惣湯まかせにしないでください。町民割引を20%くらいやってほしい、賃料が入るなら町民に還元してもらいたいです。万葉公園は観光客だけのものではないことを忘れないでいただきたいです。</p>	<p>万葉公園の管理運営については、指定管理者制度を導入し、日帰り温泉施設「湯河原惣湯」においては、民設民営となっております。</p> <p>いただいたご意見等を尊重し、今後は、観光客も町民も利用しやすく、集えるような場所として、また、湯河原らしさを感じられるようなイベント等を協働して検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
8	<p>【基本目標2】 2-1 関係人口の創出・拡大 (4) 町民向け観光ツアーの開催</p> <p>観光協会が行っている見番落語と落語会について何年も通っているが町民の利用が少ない。PRが少ない。見番の建物も古く、坂と階段がきつく年配者には行きにくい。ぜひエレベーターをつくってほしいです。毎年開催されている落語会もいつも同じ噺家さんでつまらない。アンケートをとるなどして進化していてもらいたい。近隣の南足柄市では指定管理者としてイベント会社に委託し、素敵なイベントが多い。町民が喜ぶイベントを開催してほしいです。</p>	<p>見番落語及び三遊亭小遊三 一門会については、観光客の誘客に加え、町民の方にも多く利用していただくため、周知をしております。また、一門会については、令和3年度は講談師の神田伯山、令和2年度は落語家の桂米助、令和元年度は漫才師のナイツなど毎年ゲストの方をお招きし、内容の充実を図っております。引き続き、実施団体と連携しながら、実施をしております。</p> <p>また、湯河原芸妓屋組合の建物についてのご要望については、同組合に情報を提供させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

<p>9</p>	<p>【基本目標 2】 2-1 関係人口の創出・拡大</p> <p>(5) 魅力ある地域資源の活用</p> <p>温泉の町、湯河原を前面にアピールするのであれば、観光客の共同温泉浴場を町内に複数カ所（駅周辺、国道 135 号線沿いなど）に新設し、文字通り「総湯」の魅力でひとを呼び込む（野沢温泉や別府温泉の様に）。料金も観光客の財布に優しい金額で。</p>	<p>現在、町では、共同温泉浴場等の新設は検討しておりませんが、町営ごごめの湯のほか、民間の日帰り入浴施設が町内各所にございます。これに加え宿泊施設にもご協力いただき、湯河原の名湯めぐりを楽しんでいただくための、日帰り温泉マップを作成し、PRをしているところがございます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
<p>10</p>	<p>【基本目標 2】 2-1 関係人口の創出・拡大</p> <p>(8) スポーツ施設の整備</p> <p>日頃ヘルシープラザを利用させていただいているが、冷暖房料金の 1 千円/1 時間は公共スポーツ施設としては高すぎると常日頃から感じている。もっと気軽に冷暖房を利用できる料金設定に変更して頂きたい。一方、多目的室の利用料金はリーズナブルな金額であり有り難い。</p>	<p>冷暖房使用量については、受益者負担の観点から料金を頂いており、近隣施設における同一設備の料金体系とも大きくかけ離れているものでもありませんので、料金設定についても適切なものと考えております。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
<p>11</p>	<p>【基本目標 2】 2-2 移住・定住の促進</p> <p>(1) 湯河原町への移住PR</p> <p>(3) お試し移住の促進</p> <p>計画には大賛成です。計画をはやく実行・実践してください。2015 年よりの総合戦略プランよりの計画が継承されているものと思われまます。7 年も前から計画されているお試し移住体験者がゼロとのこと。近隣市町村は実践し、実績を上げております。計画だけで実践していないのは湯河原町だけです。計画は実践するためにあります。早期の実践を望みます。</p>	<p>(1) については、第 1 期プランより継続となっております。今回の見直しにおいて K P I の見直しと、検討事項に移住拠点の整備を追加しております。引き続き湯河原町への移住PRを推進してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p> <p>(3) については、第 2 期プランからの新規事項となっております。先進事例等の調査・研究し、その実施の可否を含めて当町に合った形を検討してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

12	<p>【基本目標 3】 3-2 出産環境の充実</p> <p>町内にない産科医の誘致大賛成です。計画ではなく実現させてください。</p> <p>2015 年総合戦略プランよりの継承事業と思われます。7 年も前から計画されているようです。2019 年には 100% 実現を目標とされていたようですが現実は達成されていません。計画はだれでも立てられます。7 年間実現のためになにをやっていたのか不思議です。早期の実現を望みます。</p>	<p>出産を取り扱う産科または助産院につきましては、全国的に産科医師が減少している状況です。そのため、町単独で誘致することは困難であることから神奈川県町村会を通じ、国に対して産科を含めた地域医療の充実について要望をしております。</p> <p>また、JCHO 湯河原病院の移転新築の際の交渉の過程等におきまして、診療科目の充実という観点から、産婦人科、小児科の新設等について要望を重ねてきた結果、町の要望を最大限尊重していただいた中、令和 2 年 4 月から産婦人科の診療が始まっています。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
13	<p>【基本目標 4】 4-2 健康長寿社会の実現</p> <p>(5) 交通不便地域の解消</p> <p>ゆたぼん号について、吉浜方面にゆたぼん号がないのはどうしてでしょうか。運転免許返納者や高齢者にはコミバスの料金を半額にするなど検討してほしい</p>	<p>ゆたぼん号の運行エリアは、高低差、人口の多さ、年齢層の高さなどを点数化し、総合的に評価して決めております。</p> <p>吉浜方面にはコミュニティバス等の代替手段があることから、ゆたぼん号の運行は行っておりません。</p> <p>また、コミュニティバスは路線バスと異なり一律 210 円での運行となっております。今後も将来に渡って採算性を含めて運行等の検討をしていきます。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>